

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	マスコミへの情報提供等	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	秦野泰嘉	内線	2135
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	報道（マスコミへの情報提供等）（05-35-50-01,05-40-91-01）				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	不明 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	荒川区を内外にPRするとともに、都区及び国の施策等、職員のニーズに合った情報を職員に提供する。				
対象者等	・日刊紙、TV局、業界紙、スポーツ紙、ローカル紙 ・区職員				
内容	<p>[マスコミへの情報提供]                  区の施策や事業などの区政情報や町会、商店街の事業などの地域情報をマスコミ各社に提供し、荒川区を内外にPR。                  選挙情報（投・開票状況）の提供                  マスコミからの取材対応・取材協力</p> <p>[記者会見]                  区の当初予算案と主要施策を毎年2月上旬に発表                  新規事業の実施時などを随時、報道機関に発表しPR</p> <p>[写真ニュースの掲示等]                  区内のニュースを1階ロビーや駅等に写真ニュースとして掲示し、来庁者などにPR</p> <p>[今日のニュースの発行]（B4版/表裏2～4P）                  日刊紙等の掲載記事から区の施策や行事、国や都の施策等を収集し職員に周知                  日刊紙：朝日、読売、毎日、東京、産経、日経（平成14年7月からタイトルのみ）、都政新報</p> <p>[行事予定表作成]                  区の施策や事業などの区政情報や町会、商店街の事業などの地域情報を収集し、一覧表にして取材資料にするとともに各課に配布                  取材資料として日刊紙、TV局などに提供する。</p>				
経過	日刊紙等：朝日・読売・毎日・産経・東京・日経・時事通信・共同通信・都政新報 TV：NHK・日本テレビ・TBS・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京・MXテレビ・共同通信 スポーツ紙：報知・スポニチ・日刊スポーツ・東京中日・サンケイ・デイリー・東京 業界紙：建設通信新聞等 9社 日本教育新聞等 8社				
必要性	マスコミへの区政情報の提供(パブリシティ)は、区にとって最も重要な広報手段の一つである。				
実施方法	( 直営 一部委託 全部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
予算額	40	15	13	13	13	1,289	1,289	
決算額(19年度は見込み)	5	4	9	8	5	530	530	
人件費					8,619	8,619		
【事務分担量】(%)					100	100		
合計(+)	5	4	9	8	8,624	9,149	530	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	5	4	9	8	8,624	9,149	530	
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	新聞・雑誌等掲載件数	759	812	744	881	1,033	1,374	
	テレビ・ラジオ放映回数	75	103	144	215	145	133	
	情報提供数	229	386	1,446	745	1,137	1,238	

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	食料費	記者会見当日賄	5	記者会見当日賄	4	記者会見当日賄	13
	一般需要費			大型写真印刷機消耗	236		
	委託費			大型写真印刷機保守	0		
	備品費			大型写真印刷機	290		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	情報提供総数	745	1,137	1,238	222	1,200	
					(5月末)		

(問題点・課題)	インターネットのWEBニュースなどIT関連マスコミへの情報提供に力を入れていく必要がある。
他区の実況	( 実施 区                      未実施 区 )

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
「iJAMP」を初めとするインターネットサイト等に情報提供を行う。	区政情報の周知拡大が図れる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	区政への関心度を高めるために、極めて重要

議会議況(要旨)	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

<b>事務事業名</b>	ホームページの管理・運用	<b>部課名</b>	総務企画部広報課	<b>課長名</b>	大口康男
		<b>担当者名</b>	石井信之	<b>内線</b>	2132
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）</b>	荒川区ホームページの管理(05-40-90-01)				
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
<b>開始年度</b>	昭和 平成	9 年度	<b>根拠</b>	荒川区インターネットの管理・運用に関する基準	
<b>終期設定</b>	有 無	年度	<b>法令等</b>	荒川区におけるホームページの管理・運用に関する基準	
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	計画推進のために[ ]			
	<b>政策</b>	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	<b>施策</b>	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた区政の実現に向け、より広い範囲の広報・広聴活動を行う。</li> <li>・ITを活用して利便性の高い行政サービスを行う。</li> </ul>				
<b>対象者等</b>	インターネット利用者				
<b>内容</b>	<p>インターネットを利用した区政情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせ、新着情報、写真館、区長の部屋、あらかわ区報、施設予約システム</li> <li>・緊急時に、休日診療当番医、申請書ダウンロード、携帯ページ、施設案内、リンク集</li> <li>・区の条例・規則、入札・契約等、採用情報、イベント情報、あらかわマップ、キッズページ等</li> <li>・総合サービス案内（届け出・手続き、子育て、福祉・健康、暮らしと環境、生涯学習・スポーツ、学校・教育、区の財政・財政）</li> </ul> <p>区民等の意見聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長へのメール メールで聴取した意見は、「区民の声」として収受し、広聴業務として秘書課が取り扱う。</li> </ul>				
<b>経過</b>	平成 9年 11月	荒川区ホームページ開設			
	平成 11年 1月	荒川区ホームページ改訂、防災ホームページ開設			
	平成 12年 2月	産業ホームページ開設			
	平成 13年 7月	図書館検索・予約システム開始			
	平成 13年 10月	申請書ダウンロードサービス開始			
	平成 13年 12月	施設検索・予約システム、携帯電話Webサービス開始			
	平成 14年 2月	図書館検索・予約システムに携帯電話版開始			
	平成 14年 4月	荒川区ホームページの全面リニューアル（デザイン等、音声対応変更）			
	平成 15年 4月	携帯電話による自治体情報の提供（テレモ自治体情報）			
	平成 17年 4月	荒川区ホームページの全面リニューアル（ホームページ更新支援システム導入）			
<b>必要性</b>	ITを活用して区政の情報を迅速に提供するためには、ホームページの必要性は高い。				
<b>実施方法</b>	（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ） 情報の更新は、各課にて対応する。 ホームページ更新支援システム及びサーバー保守委託 携帯電話用Web掲載委託				

予算・決算額等の推移	事項名	（単位：千円）						
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額			2,801	32,360	6,951	9,819	10,863
	決算額（19年度は見込み）	31	844	2,801	29,702	6,900	8,797	
	人件費					6,895	7,326	
	【事務分担量】（%）					80	85	
	合計（+）	31	844	2,801	29,702	13,795	16,123	0
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	31	844	2,801	29,702	13,795	16,123	0
<b>実績の推移</b>	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	アクセス数	113,300	178,000	258,000	328,000	366,000	392,000	415,000

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
委託料	ホームページ更新支援		3,327	ホームページ更新支援	4,755	ホームページ更新支援	6,790
	携帯電話用Web		1,210	携帯電話用Web	1,210	携帯電話用Web	1,210
	音声認識ソフト保守		1,260	音声認識ソフト保守	1,260	音声認識ソフト保守	1,260

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
アクセス数		328,000	366,000	392,000	415,000	450000	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方向性を高め、情報を発信するだけでなく、情報を受け取るシステムを充実していく必要がある。</li> <li>・ホームページの掲載記事・内容について、各所管課で責任を持って作成するよう指導する必要がある。</li> </ul>
他区の実況	（実施 22 区                      未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
常に、各所管課にて最新の情報を更新出来る体制づくりに努める。	最新の情報を正確に周知出来る。
ホームページへの要望・意見等を参考にして、分かりやすいホームページづくりに努める。	見やすい、分かりやすいホームページを提供出来る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	区政情報の提供手段として、今後ますます重要となる事業である

議（要旨）	
-------	--

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	あらかわ区報の発行	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	石井信之	内線	2132
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	あらかわ区報の発行(05-40-14-01)				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	22 年度	根拠	荒川区広報事務規定	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民に対し、区の施策や区民生活に密接に関わる情報を提供する。</li> <li>・ 条例等に基づき、財政状況や職員給与等について公表する。</li> <li>・ 社会秩序、交通マナーの励行や人権等に関する区民意識を啓発する。</li> </ul>				
対象者等	区民全般、マスコミ等				
内容	<p>あらかわ区報の編集・発行 80,000部発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月1日、11日、21日の3回発行(5月11日、8月11日、1月11日休刊)ほか、特集号、臨時号</li> <li>・ タブロイド版、4 Pまたは8 P、新年号4 P・特集号、臨時号4 Pまたは2 P</li> </ul> <p>区報の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞折込み配布(70,000部)</li> <li>・ 広報スタンド(区内主要駅等 10カ所)、コンビニエンスストア(17カ所)、公衆浴場(42カ所)</li> <li>・ コミュニティバスさくら</li> <li>・ 区内公共施設窓口</li> <li>・ 区民への郵送(高齢者・障がい者等で外出困難の方に限定)</li> </ul> <p>声のあらかわ区報の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障がい者(1～3級)に郵送 (H19.6現在 37人)</li> </ul>				
経過	<p>昭和23年1月 荒川区政ニュース創刊(月刊)</p> <p>昭和48年5月 月2回発行・新聞折込みによる各戸配布</p> <p>昭和56年4月 月3回発行</p> <p>平成元年度 カラー号の発行開始</p> <p>平成12年度 コンビニエンスストアに区報配置</p> <p>平成15年度 広告掲載開始</p> <p>平成16年 全号カラー化(一部)</p>				
必要性	ホームページ等によるインターネットによる情報提供のみならず、区民に対して、区の施策や区民生活に関わる情報を提供する紙媒体としての必要性は高い。				
実施方法	<p>( 直営 一部委託 全部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )</p> <p>区報編集作業 広報課職員 印刷製本、新聞折込、区報封入・折込、声のあらかわ区報製作(民間委託)</p>				

		(単位：千円)						
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
予算・決算額等の推移	予算額	32,368	38,556	37,512	40,067	37,377	40,352	39,889
	決算額(19年度は見込み)	29,462	32,919	33,618	34,641	32,668	33,468	
	人件費					11,205	18,962	
	【事務分担量】(%)					130	220	
	合計(+)	29,462	32,919	33,618	34,641	43,873	52,430	0
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
その他(特定財源)			3,000	3,540	3,090	2,760		
一般財源	29,462	32,919	30,618	31,101	40,783	49,670	0	
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	発行部数	77,200	77,200	77,200	77,200	77,200	80,000	80,000
	折込部数	71,000	71,000	71,000	70,000	70,000	70,000	70,000

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	印刷製本	区報印刷製本	16,789	区報印刷製本	17,335	区報印刷製本	22,012
	委託料	新聞折込	15,741	新聞折込	14,321	新聞折込	15,173
		声のあらかわ区報委	637	声のあらかわ区報委	635	声のあらかわ区報委	958
		封入、スタンド等配	541	封入、スタンド等配	862	封入、スタンド等配	1,371

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	区報配布率(%)	91.3	93.1	91.8	89.9	100	発行部数 / 世帯数
		77,200	80,000	80,000	80,000	90000	発行部数
		84,535	85,922	87,118	89,019	90000	世帯数

(問題点・課題)	<p>区報の配布は新聞折込によって行っているが、年々新聞の購読者が減少する傾向にあるため、身近な場所で区報を入手できる手段を増やす必要がある。</p>
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区)

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区報を設置できる施設等の拡充	区報読者の拡大
紙面のカラーページの増	見やすい紙面づくりを図る

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	区の広報紙として、区の情報提供手段のベースとなる事業

(状況)	<p>議会議事録</p>
------	--------------

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	CATV番組制作	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	秦野泰嘉	内線	2135
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	CATV番組制作（05-40-28-01）				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	5 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内で開局しているCATVを活用し、行政情報を広く区民に提供する</li> <li>・映像媒体としての特性を活かし、情報を迅速に親しみやすく伝える</li> <li>・地域コミュニティの活性化を促進する</li> </ul>				
対象者等	区民全般（個人）加入金 21,000円、工事費 21,000円 月額利用料金 3,990円（標準料金） 法人の加入金・月額基本利用料は別に設定				
内容	<p>制作本数：年間52本（毎週月曜日に更新） 放映回数...1日6回</p> <p>番組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんにちは荒川区」：1日4回放送 9:00、12:00、19:00、21:00 区内ニュース、週刊あらかわ、荒川の人、企業・職人などを10分程度で紹介</li> <li>・「あらかわ情報スクエア」：1日2回放送 10:00、18:00 子供向け情報番組（じゅにクラ情報局）講演・講座等</li> <li>・[特別番組]：選挙開票状況を生放送（区長、区議・都議選挙） *H17.7.3の都議選は、防災課の緊急告知システム（L時テロップを活用）</li> <li>・[区議会放映制作]：平成12年度の決特、予特の総括質疑を試行（平成13年度から実施）</li> <li>・[番組動画配信]：「こんにちは荒川区」のニュース等を区HPから配信 * 配信期間：番組放映日から10週間（H14.11開始）</li> </ul>				
経過	<p>平成 3年 9月 区内にCATV開局（情報提供のみ）</p> <p>平成 4年 4月 「さわやかタウン情報」の中で荒川区の情報を放送</p> <p>平成 5年 4月 「こんにちは荒川区」制作・放送開始（5年度は40分番組）</p> <p>平成 5年 6月 CATVで「選挙開票状況」放送開始（6月27日都議選）</p> <p>平成 7年 4月 コミュニティチャンネルを21chから5chに移行（5chへの移行により電波障害対策でCATVを導入した世帯でもコミュニティチャンネルの視聴が可能に）</p> <p>「あらかわアラカルト」制作・放送開始</p> <p>平成12年 9月 CATVで「荒川区議会放送」開始（平成15年3月 手話通訳導入）</p> <p>平成14年11月 区HPでCATV番組（ニュース）の動画配信開始</p> <p>平成18年 4月 「あらかわアラカルト」を「あらかわ情報スクエア」にレベルアップ</p>				
必要性	映像を伴う広報媒体として極めて重要である。				
実施方法	<p>（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <p>「こんにちは荒川区」、「あらかわ情報スクエア」...TCN 特別番組（選挙開票状況、荒川区議会放送）...TCN CATV番組動画配信...TCN</p>				

予算・決算額等の推移	事項名	（単位：千円）						
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	99,606	91,792	94,864	95,533	94,135	124,622	125,753
	決算額（19年度は見込み）	99,413	91,489	94,429	94,955	92,944	123,995	125,753
	人件費					10,343	10,343	
	【事務分担量】（%）					120	120	
	合計（+）	99,413	91,489	94,429	94,955	103,287	134,338	125,753
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	99,413	91,489	94,429	94,955	103,287	134,338	125,753
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	加入世帯(A)	11,905	13,810	15,429	17,131	18,832	21,026	
	難視聴対策世帯等(B)	15,809	16,441	20,981	22,063	24,091	24,961	
	視聴可能世帯(A+B)	27,714	30,251	36,410	39,194	42,923	45,987	
	視聴可能世帯の比率(%)	33.90	36.33	42.75	45.62	49.27	51.66	

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需要費	消耗品・器材等の修繕	262	消耗品・器材等の修繕	31	消耗品・器材等の修繕	457
	委託料	CATV番組制作費	92,587	CATV番組制作費	123,995	CATV番組制作費	125,296
	備品購入費	DVDレコーダー	95	DVDレコーダー	50		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
	区内における区民チャンネル視聴可能世帯の比率（％）	45.62	49.27	51.66		60.00	従来のケーブルテレビの区民チャンネル放送に加え、インターネット放送等による視聴可能世帯の増加を図るため

（問題点・課題）	2011年7月24日のデジタル放送移行に向けて、区民チャンネルの視聴世帯をより多く確保するための検討を行う必要がある。
他区の実況	（実施 14 区 未実施 7 区） 実施区：番組制作区（港・文京・台東・墨田・江東・品川・大田・中野・杉並・豊島・北・板橋・足立・江戸川＝14区）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
難視聴対策等により区民チャンネルを視聴している世帯の動向把握（2011年7月24日以降の視聴可能世帯の把握）とインターネットによる動画配信した場合の技術面、費用面からの検討	動画配信導入時期の決定

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	区政情報の提供手段として、重要な事業

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--



# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

<b>事務事業名</b>	ビデオ広報制作	<b>部課名</b>	総務企画部広報課	<b>課長名</b>	大口康男
		<b>担当者名</b>	秦野泰嘉	<b>内線</b>	2135
<b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）</b>	ビデオ広報制作（05-40-42-01）				
<b>事務事業の種類</b>	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
<b>開始年度</b>	昭和 平成	60 年度	<b>根拠</b>		
<b>終期設定</b>	有 無	年度	<b>法令等</b>		
<b>実施基準</b>	法令基準内	都基準内	区独自基準	<b>計画区分</b>	計画 非計画
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	計画推進のために[ ]			
	<b>政策</b>	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	<b>施策</b>	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
<b>目的</b>	1 区の「ひと・まち・文化」の貴重な財産等を次世代に継承 2 区内で活躍する人や団体等を区内外に広くPR 3 地域文化に対する区民の理解を深めるとともに、区への愛着心の醸成				
<b>対象者等</b>	区民等全般（区をPRする意味では、区内外を問わず貸し出しを実施している。）				
<b>内容</b>	[制作] 区の人、街、文化、歴史などを広く区民に紹介し、後世に伝える記録として活用するため、映像で分かりやすく制作する。時間は20～30分程度。 [貸出] 作品を区報や作品一覧表（B5判、4ページ）でPRするとともに、作品は広報課と各図書館で、いつでも誰にでも貸し出している。郵送による貸出も可能（送料270円）  ビデオ放映場所...計7箇所 *18年度（12月）にサニーホールに設置している機器が故障のため撤去 区役所（庁舎ロビー）、日暮里サニーホール、南千住東部、南千住西部、町屋、尾久、日暮里の各区民事務所				
<b>経過</b>	昭和55年度...「区政記録映画」制作開始 昭和60年度...「ビデオ広報あらかわ」に名称変更 平成12年度...基本計画事業に位置付けられる（平成14年度からは除外）				
<b>必要性</b>	内容を精査した上で、区の貴重な財産等を映像媒体として、次世代に継承することは、極めて重要				
<b>実施方法</b>	（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）  実績のある制作会社にプロポーザル方式により委託(原則) 制作会社 毎日映画社、文化工房、東京ケーブルプロダクション *18年度は、荒川ケーブルテレビ株式会社に区を紹介するプロモーションビデオを制作（特命随契） *19年度は、区制75周年記念の歴史ビデオを制作予定（短編）				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移	予算額	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	5,000	2,901	3,953	2,500	2,400	2,400	2,000
	決算額（19年度は見込み）	4,805	2,415	2,679	0	2,363	1,696	2,000
	人件費					3,448	3,448	
	【事務分担量】（%）					40	40	
	合計（+）	4,805	2,415	2,679	0	5,811	5,144	2,000
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	4,805	2,415	2,679	0	5,811	5,144	2,000
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	制作本数	2	1	1	0	1	1	1
	累計	82	83	84	84	85	86	87

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	ビデオ広報あらかわ制作	2,363	ビデオ広報あらかわ制作	1,696	ビデオ広報あらかわ制作	2,000

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	

（問題点・課題）	<p>ケーブルテレビのニュース番組の充実により、ビデオ広報は、記録・保存の必要性の高いものに特化する必要がある。</p> <p>ビデオ放映機設置（H1～H3）から15年以上経過し、故障した場合の交換部品がないため、撤去せざるを得ない状況にある。各家庭での放映機器の普及から、DVDを含めた貸し出しによる方法に特化すべき時期にきている。</p>
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 10 区                      未実施 12 区）</p> <p>未実施区（文京・台東・品川・江東・葛飾・墨田・大田・世田谷・中野・渋谷・豊島・練馬）</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
光ケーブル等のインターネット普及に伴うインターネット放送の検討（ビデオ放映機の撤去時期の検討）	ビデオ広報の視聴拡大

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
D	D	今後は、必要に応じて随時制作する

議会議決（要旨）	平成12年9月3日 「ようこそ荒川区へ」のプロモーションビデオの作成について
----------	--

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	区勢概要の発行	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	石井信之	内線	2132
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	区勢概要の発行(05-40-56-01)				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	24 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川区の概要を広く一般に紹介する。</li> <li>・区の事務事業の前年度1年間の業務をまとめるとともに、区内官公署等の事務事業についても収録し、行政資料として活用する。</li> </ul>				
対象者等	区、官公署等				
内容	<p>区勢概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数 年1回</li> <li>・発行部数 550部</li> <li>・内容 約180ページ</li> <li>・荒川区の概要：区のあらまし、区の計画・資料編：区内事務事業の1年間の統計（官公署含む）</li> <li>・有償頒布 区民その他(業者等)については、有償とする。 790円（18年版）</li> </ul>				
経過	<p>昭和24年度 区の行政資料として発刊</p> <p>昭和55年度 区勢概要（本編+資料編）</p> <p>昭和58年度 区勢概要（数字で表す荒川区）と区政のあらまし（目で見て分かる荒川区）に分冊</p> <p>平成9年度 区勢概要と区政のあらましを統合</p> <p>平成10年度 有償頒布開始（1600円）</p> <p>平成15年度 データをホームページ上でも公開</p>				
必要性	区の事務事業の内容を数値で表し、統計資料として作成する必要がある。				
実施方法	<p>（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <p>編集、レイアウトについては、広報課職員 印刷製本については、業者委託</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
予算額	2,810	1,313	537	537	533	549	520	
決算額（19年度は見込み）	2,625	801	480	499	417	438		
人件費					2,155	3,879		
【事務分担量】（%）					25	45		
合計（+）	2,625	801	480	499	2,572	4,317	0	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,625	801	480	499	2,572	4,317	0	
事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
発行部数	550	550	550	550	550	550	550	

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	印刷製本	区勢概要印刷	417	区勢概要印刷	438	区勢概要印刷	520

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区の行政統計資料とするために、正確な情報収集に努める。	最新の行政統計資料として提供出来る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	区政の基礎データとして必要

議会議況（要旨）	
----------	--

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	区民便利帳の発行	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	石井信之	内線	2132
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	区民便利帳の発行(05-40-70-01)				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	53 年度	根拠	荒川区「わたしの便利帳」広告掲載取扱要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等	荒川区広報事務規程	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	・生活に密着した区政の情報や、官公署、公共事業の情報を収録した冊子を発行し、区民や転入者等に提供する。（各戸配布を行う）				
対象者等	・区民（各戸配布）・転入者（転入届時に配布）				
内容	<p>区民便利帳の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年に1度、各家庭で随時利用できる生活情報誌を区民に各戸配布する。</li> <li>・区転入者に、転入届時に配布する。</li> <li>・発行部数 108,000部（各戸配布90,000部 窓口（転入者用含む）15,000部 その他</li> <li>・広告掲載料：掲載サイズに異なる 2万から35万</li> </ul> <p>声の便利帳の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者（1～3級）に提供。（60分カセットテープ6巻）</li> </ul>				
経過	昭和53年度 区民便利帳発行開始（3年ごとの発行） 昭和63年度 声の便利帳発行開始 平成元年度 2年ごとの発行に変更（広告掲載を開始）				
必要性	各家庭で随時利用できる生活情報誌（各種届、福祉等の情報を冊子として発行）を各戸配布する必要がある。				
実施方法	（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）  原稿作成、校正 広報課職員 便利帳製作、配布、声の便利帳製作（民間委託）				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
		予算額	12,374		14,296		16,894	
	決算額（19年度は見込み）	11,906		14,213		15,991		
	人件費					2,155	10	
	【事務分担当】（%）					25	862	
	合計（+）	11,906	0	14,213	0	18,146	10	0
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）	1,880		1,860		1,420		
	一般財源	10,026	0	12,353	0	16,726	10	0
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	発行部数	93,000		108,000		103,000		108,000
	広告掲載実績	1,880		1,860		1,420		

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	便利帳製作委託	11,929			便利帳製作委託	12,474
	委託料	便利帳配布委託	3,612			便利帳配布委託	3,696
	委託料	声の便利帳製作委託	450			声の便利帳製作委託	450

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題分析）	転入者の増加、転入前の情報収集のために、便利帳を希望する人が増えている。
他区の実況	（実施 22 区                      未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容  区の行政サービス情報誌としての「便利帳」の紙面づくりに向けて検討する。	改善により期待する効果  便利帳の発行によって、区の行政サービス情報を提供できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	区民への情報提供サービスとして必要

議会議決（要旨）	平成12年3定 「ガイドマップや便利帳による区のPRについて」
----------	---------------------------------

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	その他刊行物の発行	部課名	総務企画部広報課	課長名	大口康男
		担当者名	石井信之	内線	2132
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	その他刊行物の発行（05-40-84-01）				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	2 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区情報を印刷物として刊行し、広く荒川区をPRするほか、行政資料として活用する。</li> <li>・区施設や文化財、伝統工芸品など、区職員では技術的に撮影が難しいものについて、プロカメラマンに撮影を委託する。</li> </ul>				
対象者等	荒川区来訪者				
内容	<p>ガイドマップの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川区8000分の1の地図に、公共施設、主な官公署等の位置を記し、裏面に区の歴史やあらましなどを写真で紹介する。荒川区転入者と区の来訪者に配布する。</li> </ul> <p>区施設等写真撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的資料として保存する必要がある写真や区報等に掲載する写真のうち、高度な技術、特殊な機材等を必要とする撮影をプロカメラマンに委託する。</li> </ul> <p>区報縮刷版の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の区報を縮刷版にして発行する。</li> </ul>				
経過	<p>ガイドマップの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成2年度 公共施設の所在を周知するため、便利帳に折り込む「便利地図」として発行</li> <li>・平成3年度 裏面に「あらかわってこんなまち」を統合して発行</li> <li>・平成10年度 隔年発行</li> <li>・平成15年度 地図面は、色覚障がい者に配慮した「色覚バリアフリーマップ」とした。</li> <li>・平成17年度 便利帳に折り込むために、一回り小さくしたマップを発行</li> <li>・平成19年度 ガイドマップ（英語版）を発行（20年1月頃）</li> </ul>				
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の施策や諸活動に関連する情報を印刷物として刊行し、行政活動を円滑に進めるための資料とする必要がある。</li> <li>・歴史的資料は、プロカメラマンに撮影してもらう必要がある。</li> </ul>				
実施方法	<p>（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <p>ガイドマップの印刷製本及び写真撮影は業者委託</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
予算額	2,373	1,374	2,439	1,691	3,023	1,582	4,872	
決算額（19年度は見込み）	2,277	1,373	2,331	1,470	2,471	225		
人件費					1,724	2,586		
【事務分担量】（%）					20	30		
合計（+）	2,277	1,373	2,331	1,470	4,195	2,811	0	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,277	1,373	2,331	1,470	4,195	2,811	0	
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	ガイドマップ発行部数	18,000	6,000	20,000	15,000	103,000	0	108,000
	ガイドマップ（英語版）部数							2,000

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		印刷製本	ガイドマップ印刷	2,271	ガイドマップ印刷	25	ガイドマップ印刷
委託料	写真撮影委託	200	写真撮影委託	200	写真撮影委託	210	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドマップの配布・・・転入者中心に配布しているが、観光等の用途に使用する人が増えてきている。</li> <li>・縮刷版の配布・・・有償頒布について、検討する必要がある。</li> </ul>
他区の実況	（ 実施 区                      未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
最新の情報を把握して、読みやすく、分かりやすいマップづくりに努める。	最新かつ正確な情報を知らせることが出来る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	ガイドマップは紙ベースの情報源として必要

議（要旨）	
-------	--



# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	あらかわ区報 Jr . の発行	部課名 担当者名	総務企画部広報課 石井信之	課長名 内線	大口康男 2132
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	あらかわ子ども区報(05-41-50-01)				
事務事業の種類	新規事業（19年度 18年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	17 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	区政に関する情報提供の拡充[14-01]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川区のことや荒川区の仕事を分かりやすく、読みやすく紹介することで、子どもたちから区報に親しんでもらう。</li> <li>・将来の荒川区を背負って立つ子どもたちが荒川区に興味を持ったり、荒川区の仕事を身近に感じたりすることにより、子どもたちの荒川区に対する郷土愛を育てる。</li> <li>・子どもたちの声を聴き、子どもたちの意見をこれからの区報づくりや区の仕事に生かしていく。</li> </ul>				
対象者等	小中学生				
内容	<p>あらかわ区報 Jr . の発行概要 平成17年7月創刊（平成17年度 5回発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数 年10回（4月、8月休刊）</li> <li>・発行部数 23,000部</li> <li>・配布先 区立小中学校、区内の私立中学校</li> <li>・体裁 タブロイド版、カラー、4P</li> </ul> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回「テーマ」に沿って、ジュニア記者たちの体験、取材を通じて紹介する。</li> <li>・学校訪問、あらかわ今昔ものがたり</li> </ul>				
経過	平成17年7月15日創刊号発行（隔月の年5回発行） 平成18年度（年10回発行）				
必要性	<p>区政は、子どもを含めたすべての区民を対象としたものであり、荒川区の活力を高めるためにも、特に子どもたちに目を向けていく必要がある。</p> <p>子どもたちは、未来の宝であり、子どもたちが生き生きとたくましく、心豊かに成長していくことは、大変重要なことである。子どもたちの声を区政に生かしていくためには、子どもたちに荒川区のことをもっと知ってもらふ必要がある。以上のような趣旨から子ども（小・中学生）を対象とした「あらかわ区報 Jr . 」を発行したものである。</p>				
実施方法	<p>（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集、校正は広報課職員</li> <li>・レイアウト、写真、記事（民間委託）</li> </ul>				

		（単位：千円）						
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
予算・決算額等の推移	予算額					6,529	11,718	12,458
	決算額（19年度は見込み）					3,569	11,594	
	人件費					9,481	7,757	
	【事務分担量】（%）					110	90	
	合計（+）	0	0	0	0	13,050	19,351	0
	国（特定財源）							
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	0	0	0	13,050	19,351	0	
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	発行回数					5	10	10
	特集号						1	1

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	区報Jr.製作委託	3,569	区報Jr.製作委託	11,594	区報Jr.製作委託	12,458

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題） 指標分析	テーマの設定とテーマに応じた取材等に基づく、分かりやすい紙面づくりの創意工夫を図る
他区の実況	（実施 0 区                      未実施 22 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区の施策や仕事を分かりやすく紹介出来るように、計画的な編集体制に取り組む。	テーマによっては、長期にわたって取材等の体制が図れる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	子どものときから区政への関心度を高めるための手段として重要

議会議況 （要旨） 質問状	
---------------------	--